

中間発表の反省

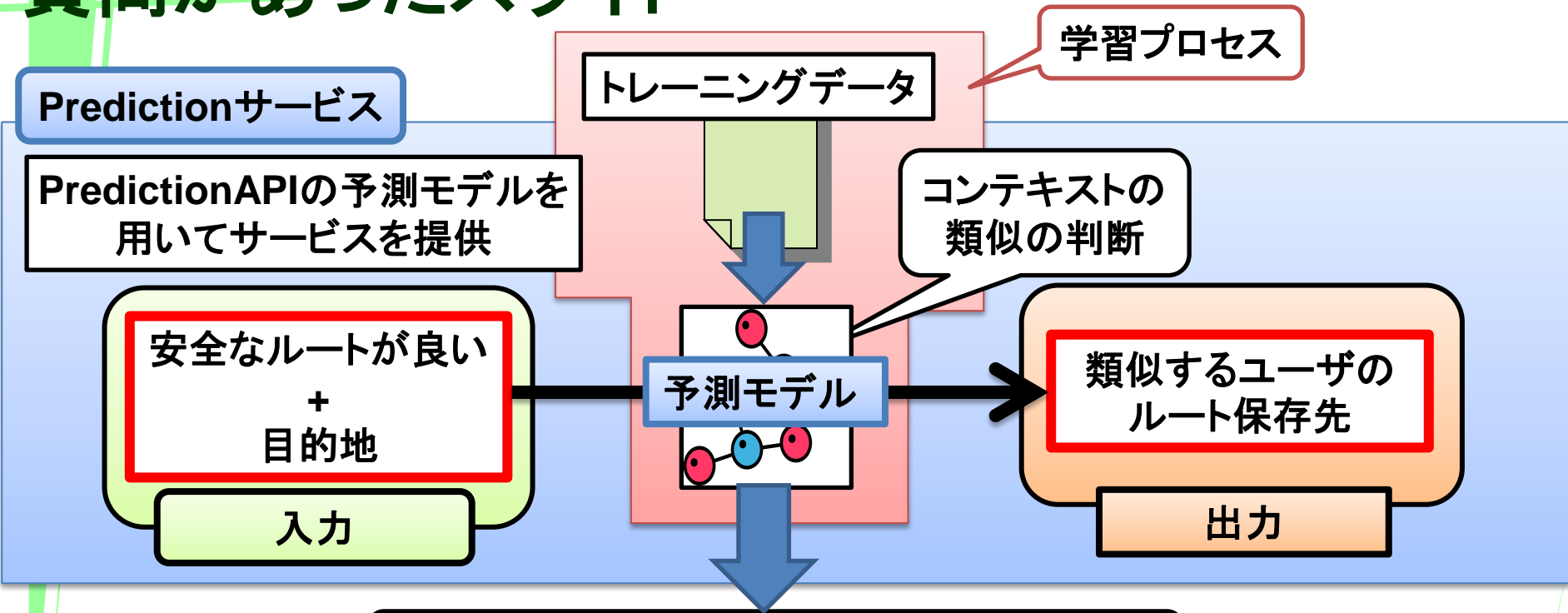
2008MI214 沢田 天馬

2008MI233 鈴木 健太

シナリオ

- 質問があったスライド
- PredictionAPIにおける予測モデル
- 実装の予定
- 今後の課題

質問があったスライド



この部分での振舞いが分からない

教示学習

与えられたデータ(トレーニングデータ)を元に学習を行う

分類知識の構築

与えられたデータ(トレーニングデータ外)に対してカテゴリ分類を行う知識の構築

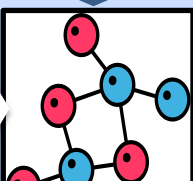
PredictionAPIにおける予測モデル

予測モデル内の二つのモデル

分類モデル

“参照先URL”, “コンテキスト”

コンテキスト



参照先URL

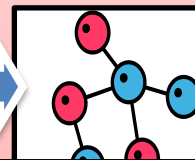
分類モデル

コンテキストを分類して
対応するURLを出力

回帰モデル

52, "Seattle", 283, "cloudy"
64, "Seattle", 295, "sunny"
60, "Seattle", 287, "partly_cloudy"

"Seattle,288,sunny"



63

回帰モデル

回帰分析を利用した数値の出力

分類モデル内の処理

Google側は公開してはないが
判断木やプロダクションシステムの
アルゴリズムの利用が考えられる

私たちの研究では分類モデルを利用

実装の予定

1. 簡単なプロトタイプの実装

- 簡単なコンテキスト(要求と目的地)に対するルート提供
 - 重みづけの検討
 - 学習プロセスの確認

2. コンテキストの再検討

- 道路属性についての検討

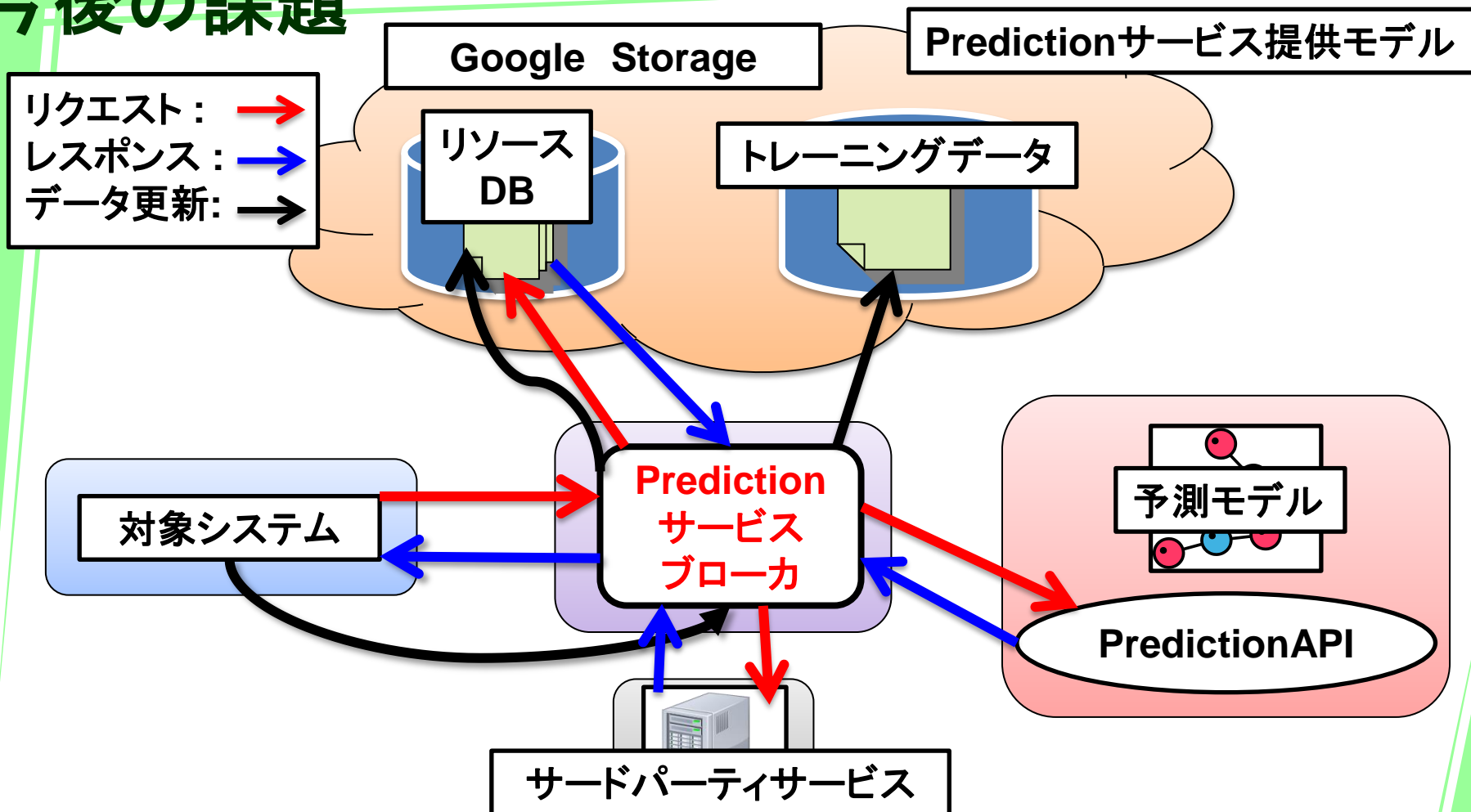
3. プロトタイプの再検討

- 2で用いたコンテキストに対応するモデルの検討(例: 回帰モデル)
- モデルに対し, プロトタイプの再検討

4. サードパーティサービスとの連携

- ITSとプロトタイプとの連携(渋滞情報・事故情報の付加)
- その他のサードパーティサービスとの連携

今後の課題



1. 簡単なプロトタイプの実装

- 簡単なコンテキスト(要求と目的地)に対するルート提供
 - 重みづけの検討
 - 学習プロセスの確認

Prediction サービス ブローカの実装を進める